

【六甲高山植物園】一面に広がる黄色の花畑 約2,000株の「ニッコウキスゲ」が見頃です！

六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:宮西幸治 阪神電気鉄道株式会社100%出資)が六甲山上で運営を行っている六甲高山植物園では、「ニッコウキスゲ」が見頃を迎えました。

高原にさわやかな夏を呼ぶ花として知られるニッコウキスゲ。関西地域以西には自生地がないため、一面に広がる様子は非常に貴重で、毎年、多くのお客様が本種を目的にご来園されます。6月には亜高山帯型が開花しておりましたが、7月に入り高原型の約2,000株の群落が見頃となりました。黄色い絨毯のように広がる鮮やかな景色は、写真や映像にもよく映えます。



◆ニッコウキスゲ(ススキノキ科)

北海道、本州(中部以北)の亜高山帯の湿り気がある草原に生える多年草です。尾瀬や霧ヶ峰の群落が有名で、高さは40~70cmになります。花は一日花で、朝開いて夕方には閉じてしましますが、一本の茎にたくさんの蕾をつけ、それが次から次へと咲くために、全体としては長い期間楽しむ事ができます。当園に咲くニッコウキスゲは、現在見頃を迎え、7月下旬頃までお楽しみいただける見込みです。

★2枚目にも見頃の花の情報があります！



◆リリースに関するお問合せ先

六甲高山植物園

TEL:078-891-1247/FAX:078-891-0137

住所:〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【開園期間】~11月23日(月) 【休園日】7月16日(木)(8月以降の休園日はHPを要確認。)

【開園時間】10:00~17:00 (16:30受付終了)

【入園料】大人(中学生以上)700円/小人(4歳~小学生)350円

見頃の夏の花

優しい香りを放つ夜の花

夏の夕べに咲く「ユウスゲ」

ユウスゲはその名の通り、夕方から咲き始め、翌日の午前中には閉じる一日花で、学名の *vespertina* も、「花が夕方に開く」という意味があります。当園でも15時ごろから花が咲き始め、閉園間際に満開になります。開花したての花からは甘い香りが漂い、暗闇で虫を誘います。



◆ユウスゲ(ススキノキ科)

本州、四国、九州の山地の草原、林縁などのやや乾いた土壤に生える多年草です。花の高さは100cm～150cmで、「キスゲ」という別名でも呼ばれており、ニッコウキスゲとは同属です。ニッコウキスゲと違い、レモン色の花の可憐な花には芳香がありますが、これは夜に咲く花が受粉をする虫から見えにくいことから、芳香を放って虫をおびき寄せるためだと考えられます。当園に咲くユウスゲは、現在見頃を迎えており、7月下旬頃までお楽しみいただける見込みです。

儂く美しい純白の花

沙羅双樹こと「ナツツバキ」

ナツツバキは「沙羅の樹」や「沙羅双樹」などともよばれ、寺院によく植えられます。しかし、『平家物語』の冒頭に登場することで有名な仏教三大聖樹の「沙羅双樹」はインド原産のフタバガキ科のサラノキのことであり、本種とは異なります。ナツツバキの気品高い純白の花が沙羅双樹に見立てられたと考えられています。



◆ナツツバキ(ツバキ科)

本州(新潟県、福島県以西)と四国、九州、朝鮮半島に分布する落葉高木です。樹皮は10年目ぐらいから剥がれて迷彩柄のような独特の模様を幹につくりだします。花は直径5センチほどで、花弁の背面に白色の毛が密生することから、絹のような光沢があります。咲き終わった花は冬に咲くツバキと同様に花ごとぼとりと落ち、風情を感じさせます。当園に咲くナツツバキは、現在見頃を迎えており、7月下旬頃までお楽しみいただける見込みです。

新しい生活様式を取り入れ感染症対策に取り組んでいます

新型コロナウイルス感染症予防の観点から、ご来園のお客様には下記の通り4点のお願いをしております。

- ① 非接触型体温計による入口での検温
- ② ソーシャルディスタンスの確保
- ③ マスクの着用
- ④ こまめな手指の消毒